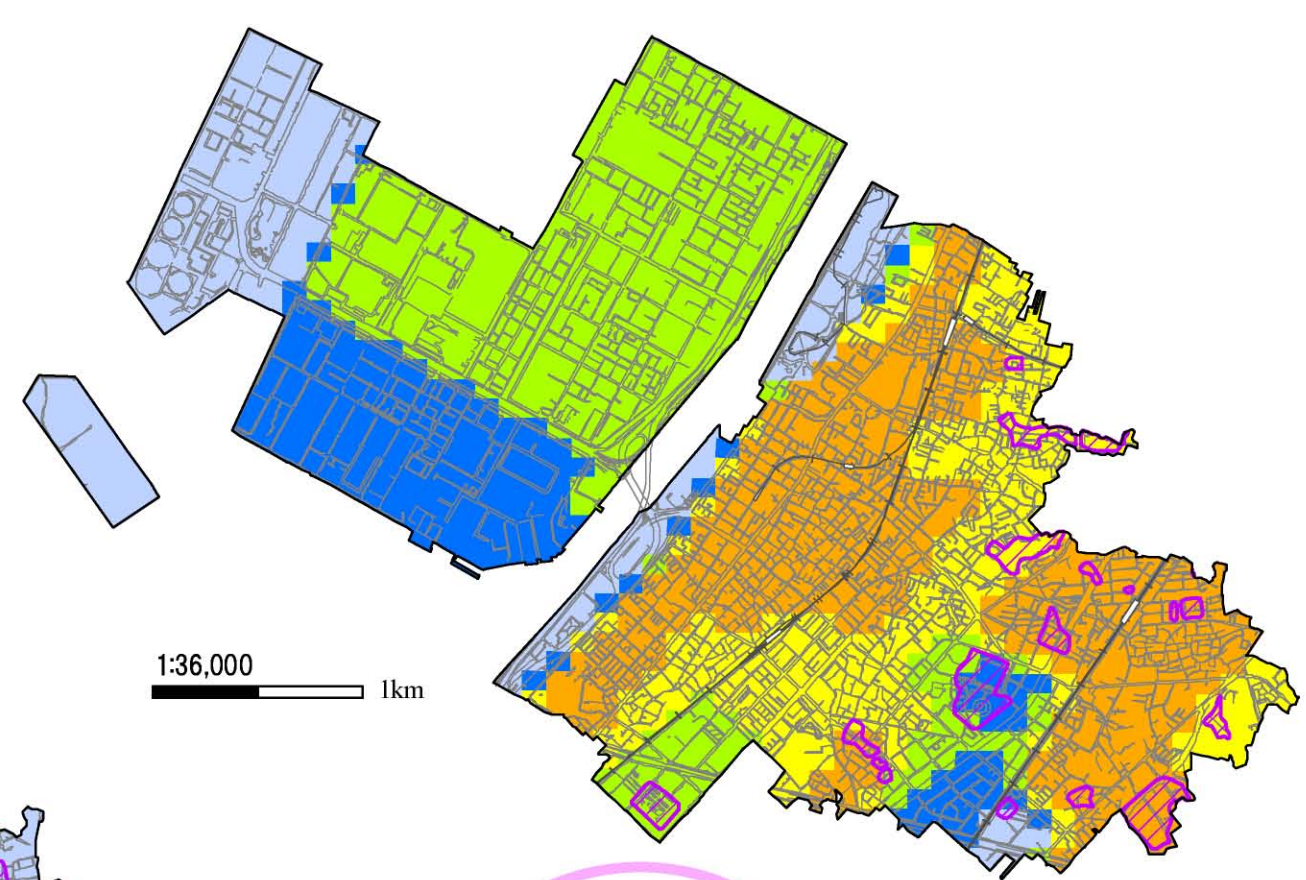
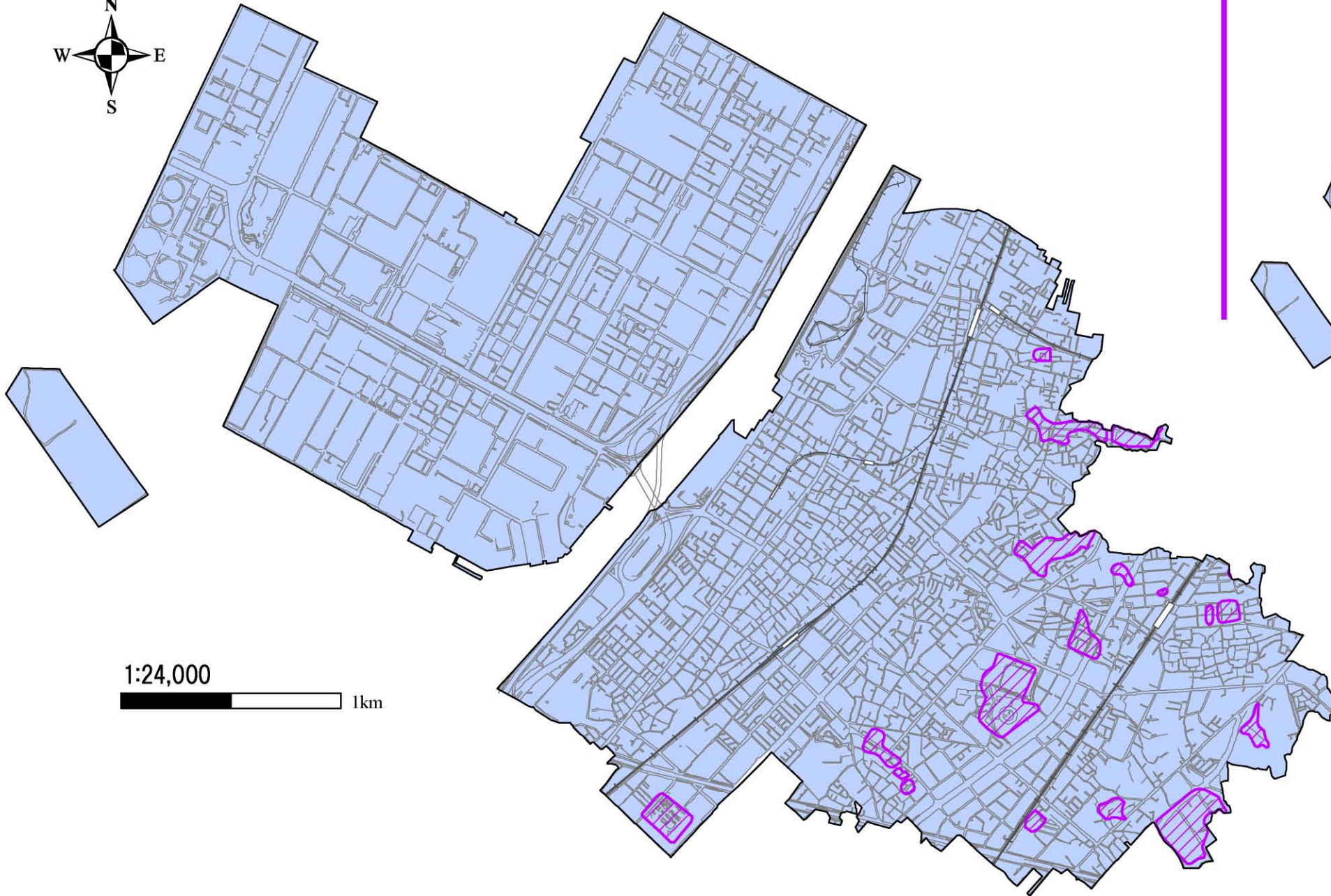


東南海・南海地震

今後 30 年以内に 50 ~ 70% の確率で発生

上町断層帯地震

今後 30 年以内に 2 ~ 3% の確率で発生



建物全壊率

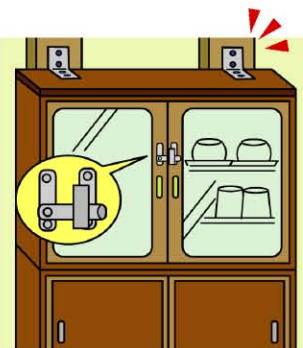
- 40%以上
- 30%以上40%未満
- 20%以上30%未満
- 10%以上20%未満
- 10%未満

ため池埋立地

※局所的に地盤が弱い所があり、液状化のような被害が発生する可能性があります。

わが家の室内の安全対策

1 棚は金具で固定!



家具の転倒防止のため、壁にL字金具や天井との間に支え棒を入れて固定させる。また、食器棚等で観音開きの扉のものには、開放防止金具を付ける。

2 飛散防止対策を!



棚のガラスや窓ガラスには飛散防止フィルムを張る。

3 落ちる危険のあるものは置かない!



割れやすいものや重いものは棚の上には置かない。

大阪府自然災害総合防災対策検討報告書による地震被害予測

- 木造棟数：13,319 棟、非木造棟数：3,551 棟
- 人口：61,704 人（平成 17 年 4 月現在）

上町断層帯地震	建物被害			建物被害による人的被害	
	全壊			早朝	
	木造	非木造	計	屋内人口	死者
	6,422	392	6,814	61,704	280

東南海・南海地震	建物被害			建物被害による人的被害	
	全壊			早朝	
	木造	非木造	計	屋内人口	死者
	151	7	158	61,704	0

地震による建物・人的被害

●上町断層帯を震源とする地震による建物被害は、市街地の大半が全壊率 20%以上を示しています。建物が全壊することにより、死者・重傷者の発生可能性は高くなります。また、全壊した建物の瓦礫などが道路をふさぎ、人命救助や消防活動、避難への妨げになる場合もあります。

